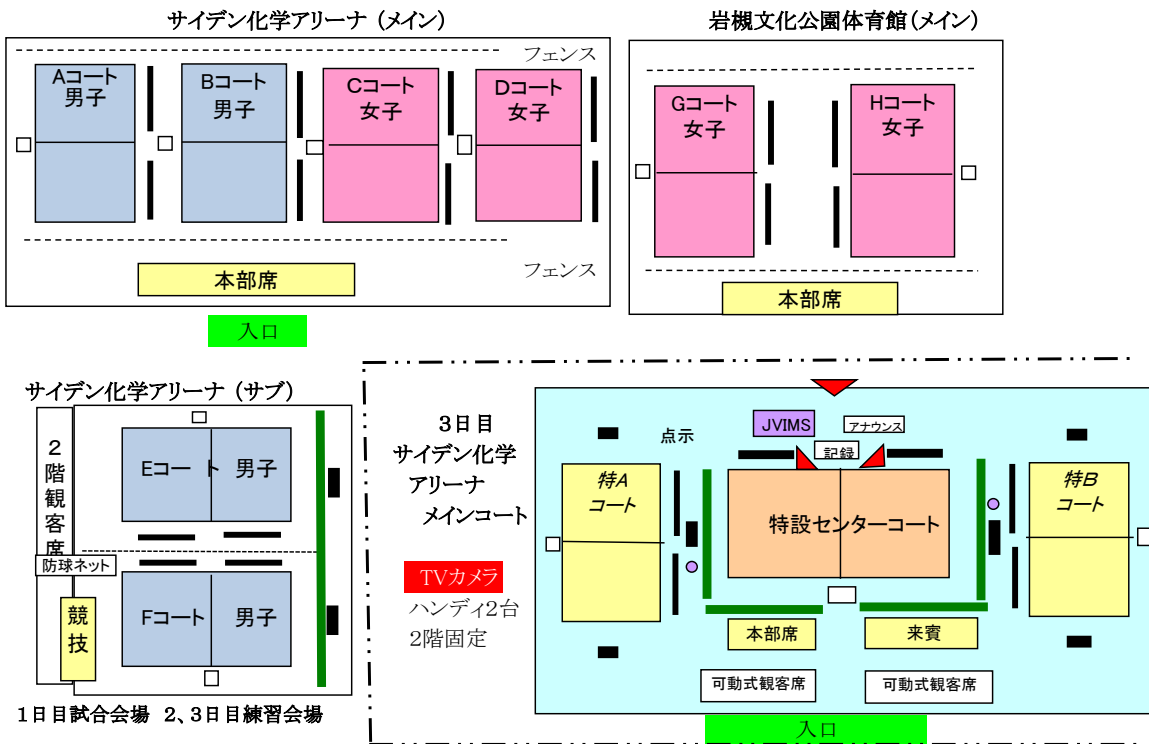


アィダ設計杯 令和4年度 第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会 埼玉県予選会  
2022.10.31 競技部

- 1 期 日 令和4年11月11日(金)・12日(土)・13日(日)  
 1日目 [男子]サイデン化学アリーナ (メインAB 2面・サブEF 2面)  
 [女子]サイデン化学アリーナ (メインCD 2面) 岩槻文化公園体育館 (GH 2面)  
 2日目 [男女]サイデン化学アリーナ (メインABCD 4面) サブコート 練習会場(ネットなし)  
 3日目 [男女]サイデン化学アリーナ (特設2面AB・決勝:特設センターコート1面) サブコート 練習会場(ネットあり)  
 2 時 間 役員開館 8:30 監督会議 8:45 検温・開館 9:10 試合開始 10:10  
 3 出場校数 40校  
 4 大会使用球 男子:ミカサ 女子:モルテン  
 5 競技方法 トーナメント方式

- 1、2日目 (1) 試合開始設定時間で進行をする。  
 (2) 給水タイム(13点、30秒間)を設ける。  
 (3) コートチェンジの吹笛はベンチ消毒後に行い、試合後のベンチの消毒は試合終了の吹笛後に行う。  
 (4) 1日目、消毒・写真撮影終了後、プロトコールとする。ただし、前の試合が延びた場合、15分後プロトコールとする。  
 (5) 2日目、前の試合が延びた場合、用具等の消毒時間を5分間設け、その後プロトコールとする。  
 (6) 1日目、第1・第4試合の補助役員は第2・第5試合のチームが行う。それ以外の補助役員は敗者チームが行う。  
 (7) 2日目、第1試合の補助役員は第2試合のチームが行う。第3試合以降の補助役員は敗者チームが行う。



3日目 準決勝は特設A、Bコート(Dコートのベンチは壁向きにする。決勝は特設センターコート。点示は各コート2ヶ所 サブコートは練習会場(ネットあり)。第2試合のチームが練習。⇒第3試合 ⇒第4試合

試合順序	試合	コート	TV	補助役員
1	男子 準決勝	2面(特A・B)	なし	線審、記録、点示は教員 モップは当該チーム JVIMSが入る
2	女子 準決勝	2面(特A・B)	なし	線審、記録、点示は教員 モップは当該チーム JVIMSが入る
遅く終わった準決勝の 70分後に試合開始 (TV放映の関係で多少前後する可能性がある)				
3	男子 決勝	特設センターコート	放映	線審、記録、点示は教員 モップは当該チーム JVIMSが入る
40分後に試合開始 (TV放映の関係で多少前後する可能性がある)				
4	女子 決勝	特設センターコート	放映	線審、記録、点示は教員 モップは当該チーム JVIMSが入る

- (1) 男女準決勝は、試合開始設定時間で進行する。  
 (2) 男女準決勝は、給水タイム(13点、30秒間)を設ける。  
 (3) 決勝は、5セットマッチ(5セット目は15点)で行う。公式練習は5分ずつ。1(ワン)ボール 給水タイム(13点、1分間)を設ける。5セット目は無し 選手交代用パドル、タイムアウト、選手交代用のブザーを使用。
- 6 「スタッフ変更届」については、各チーム初日の第1試合開始30分前に提出のこと。  
 7 チームブラカードを使用  
 8 サブコート (1) 1日目の応援席は交代制。部旗、横断幕の交代。のぼり旗は禁止。  
 (2) 2、3日目は、練習会場として使用可。2日目はネットなし。3日目のネットは、各チームで高さを調整する。  
 9 チームスタッフは襟付きの服装で、できるだけ統一する。  
 10 トレーナー席をフェンスの外側に設ける。(トレーナーはチームでIDカードを作成し使用すること)  
 11 閉会式は1位、2位のチームのみ参加する。